

園評価 重点目標・年間スケジュール(令和8年度)

なるせ保育園

重点項目と重点目標			評価項目（実際の動き・進め方）							評価指標				
【職員の協働性と資質の向上】 ○園内研修のテーマ「 ONE TEAM～子ども発 つながりを生む ワクワクの輪へ～ 」を基に、職員の協働性と専門性を高める。			① 子どもをまんやかにして多面的に語り合える職員集団となるよう、園内研修・職員会議や雑談でも活発に意見交換をする。 ② 遊びや生活を通して、人とのつながりを感じられる保育について、計画的に研修を重ねる。 ③ ワクワクの輪が広がるような内容を指導計画に組み入れ、実践・評価を繰り返していく。							① 職員同士が職種に関係なく、子どもをまんやかに話し合う機会を持ち、活発に意見交換をしているか。 ② 人とのつながりが感じられるような環境が設定されているか。 ③ PDCA サイクルを実践し、改善することでレベルアップしているか。				
【架け橋期教育の充実】 ○小学校や関係機関と連携を図りながら、架け橋期カリキュラムの編成・実践をするなかで、思いや考えを言葉で伝え合う表現力の育成に向けた活動を計画的に実践する。			① 架け橋期カリキュラムにある保小間で特に育みたい資質能力である「言葉で伝え合う力」を、職員間で共通理解する。 ② 指導計画に「言葉で伝え合う力」を意識した内容を盛り込み、その活動を実践・評価する。 ③ 授業参観や保育参観を実施したり、保小連携推進委員会で相互の意見交換をしたりする。							① 育みたい資質能力「言葉で伝え合う力」を、全職員が共通理解しているか。 ② 「言葉で伝え合う力」を意識した指導計画を作成・実践・評価しているか。 ③ 授業参観や協議の場においても「言葉で伝え合う力」に焦点を当てながら、活発に意見交換をしているか。				
【保護者・地域との連携強化】 ○保護者の状況をありのままに受容する基本的姿勢を園全体で共通認識し、保護者に寄り添ったよりよい子育て支援をする。 ○地域の人や環境を活かし、地域全体で子どもの育ちを支えられるような活動を実践する。			① 保護者との日常的な情報交換やクラス懇談会・すこやかトークルーム（保護者面談）を実施する。 ② 保護者が自ら選択、決定していくことを支援し、子どもの成長に気づき子育ての喜びを感じられるようにする。 ③ 地域や関係機関と連携し、協力を仰いだり社会資源を活用したりする。 ④ 地域交流活動を園ブログや広報等で広くPRし、園への理解が深まるようにする。							① 保護者との日々の対話や連絡を大事にし、信頼関係を保ちながら必要に応じてすこやかトークルームを実施しているか。 ② 保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられるような支援であったか。 ③ 地域の人材や環境を計画的に活用しているか。 ④ 園への理解が深まるよう、地域交流活動を実施した際は園ブログや広報等で広くPRしているか。				
スケジュール	…… 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
評価の流れ														
自己評価	○重点的に取り組む目標設定 ○評価項目等の検討・設定		○職員会議・園内研修で園の重点目標等を共通理解		○重点目標を考慮した教育活動		○中間評価 ○評価項目の検討・再設定		○中間評価で見直した重点目標を十分考慮した活動			○自己評価公表		
関係者評価	○園関係者評価委員会を設置委員の依頼		○第1回委員会 重点目標とスケジュールの周知等			○委員の保育参観・意見交換 ○外部指導者・外部保育者公開保育・意見交換 ○自己評価結果報告				○第2回委員会 自己評価の結果と改善方策について評価を実施 園関係者評価の結果の報告書の作成				
保護者対象の活動	○重点目標や計画・評価項目を保護者に周知			○保育参観・行事への参加			○保護者を対象としたアンケートを実施・公表			○自己評価結果、関係者評価の結果を公表				
設置者による支援・改善	○適宜、保育園訪問・職員から情報収集					○保育園への支援や改善のための現状把握					○評価内容に応じた支援の実施			